

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well うエル おおさか

33
2015.7

特集

第67回 大阪府民生委員 児童委員大会

◎イキイキ ハツラツ
民生委員・児童委員さん
泉南市民生委員児童委員協議会

民児協だより
豊能町民児協／門真市民児協
大阪狭山市民児協／和泉市民児協





当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ、多くの来賓が出席し、活動事例の発表や永年活動者への表彰、記念講演等が行われました。

特集

第67回 大阪府民生委員 児童委員会大会

日時 平成27年5月15日 13時～15時30分
会場 大阪国際交流センター 大ホール



第一部の式典は、交野市民児協の新庄桂子会長が司会を務め、寝屋川市民児協の佐々木美幸会長による「開会のことば」で幕を開けました。「民生委員児童委員信条」や「児童憲章」の朗読のあと、主催者あいさつとして、松井一郎大阪府知事のメッセージを植田浩大阪府副知事が代読。「急速な少子高齢化の進行、増加する児童虐待や生活の困窮や孤立といった課題に対応すべく、大阪府ではセーフティネットの取り組みを強化。府民のよき相談者・支援者である民生委員・児童委員の力添えは不可欠。公民協働による大阪の福祉をより一層充実していきたい」と協力を要請しました。

次いで、大阪府民児協連の石原欽子会長が「見えにくい生活課題に対する支援を必要とする住民が増える中、住民の立場に立った寄り添う相談支援活動に重点的に取り組み、個別援助活動の充実を図りたい。民生委員・児童委員の活躍が期待される中、委員が活動しやすい環境づくりに取り組みたい」と述べました。また、大阪府社会福祉協議会総山哲男会長は「今年度から生活困窮者自立支援制度や子ども子育て支援新制度など、新たな動きが進んでいる。新制度に対応しつつ、社会貢献事業をオール大阪の取り組みとしてすすめる、誰もが安心して暮らせる社会の構築をめざしていきたい」と述べました。

活動事例発表では、藤井寺市民児協の武本美佐登会長が「すべては顔なじみの関係から」と題し、藤井寺市民児協の取り組みを紹介。「高齢者実態把握調査を行う中で、地域の方と顔なじみの関係を構築。地域包括支援センターや専門機

司会



交野市民児協
新庄 桂子 会長



大阪府社会福祉協議会
総山 哲男 会長



大阪府民児協連
石原 欽子 会長



大阪府
植田 浩 副知事



第67回 大阪府民生委員児童委員大会 大会宣言

- 一、住民一人ひとりの置かれている状況や思いを真摯に受け止め、住民の立場に立った「寄り添う」個別援助活動を推進し、早期に必要な支援につなぎます。
- 一、複雑で困難な生活課題を抱え支援を必要とする人々への見守り・相談支援活動を着実に進め、地域の幅広い関係者とともに住民同士のつながりづくりに取り組み、支え合い、助け合うことができるまちづくりを進めます。
- 一、子育て中の家庭を支えるとともに、子どもを児童虐待や犯罪被害、貧困の連鎖などから守り、子どもが健やかに成長できるよう取り組みます。
- 一、災害時要援護者を地域全体で支えられるよう、安否確認体制の確立や各種団体とのネットワーク構築に取り組むとともに、東日本大震災や相次ぐ災害で被災された人びとや被災地の民生委員・児童委員のために求められるあらゆる支援について全力で取り組みます。
- 一、民生委員・児童委員がその力を発揮できるよう、関係機関との連携のもと、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに努めます。

平成27年5月15日
第67回 大阪府民生委員児童委員大会

●表彰状・感謝状授与者

厚生労働大臣特別表彰 9名

大阪府知事表彰

永年勤続民生委員会・副会長表彰(10年勤続) 3名

永年勤続民生委員副会長表彰(10年勤続) 1名

永年勤続民生委員表彰(20年勤続) 12名

優良民生委員表彰(10年勤続) 530名

優良主任児童委員表彰(10年勤続) 76名

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

子どもさわやか賞 21団体および1名

社会福祉事務職員に対する

大阪府民生委員児童委員協議会連合会 会長感謝状 71名

関の職員とも研修会等を通じて交流する機会を増やし、顔なじみの関係に。現場の状況を直接伝えたり、日々の活動を共有することで、実践力のある連携体制の強化を図ることができ、要援護者の方たちが安心して生活できる地域づくりや、住民の立場に立った寄り添う活動につながっている」と発表しました。

表彰状授与式では、631名の民生委員・児童委員と71名の福祉事務職員、子どもさわやか賞に21団体及び個人1名が表彰され、代表者に表彰状・感謝状が授与されました。

最後に、あらゆる人びとが地域社会の一員として尊重される「福祉と共生のまちづくり」を目指す取り組みの推進を第67回大会宣言として採択し、第一部を終了しました。

活動事例発表



「日々の活動の中で、対応しきれないケースに出会うことも多い。専門機関の職員の方々と顔なじみの関係になれば、困難時の迅速な対応につながる」と藤井寺市民児協の武本会長。



厚生労働大臣
特別表彰 代表
大阪狭山市民児協
辻 節子さん



永年勤続
民生委員会・
副会長表彰
(10年勤続) 代表
羽曳野市民児協
岡島 和子さん



永年勤続民生委員
副会長表彰
(10年勤続) 代表
摂津市民児協
小寺 康代さん



永年勤続
民生委員表彰
(20年勤続) 代表
阪南市民児協
前田 厚子さん



優良民生委員表彰
(10年勤続) 代表
大東市民児協
河村 浩さん



優良主任
児童委員表彰
(10年勤続) 代表
泉佐野市民児協
かがり
明松 俊昭さん



大阪府民生委員
児童委員協議会連合会
子どもさわやか賞 代表
若濱 瑞希さん



大阪府民生委員
児童委員協議会連合会
会長感謝状 代表
田村 栄次さん



●第67回 大阪府民生委員児童委員大会●

絵本でこどもたちに 伝えたいこと

はせがわ よしふみ

第二部は、絵本作家の長谷川義史さんを招き、記念講演を開催。絵本の朗読や、ステージで絵を描くパフォーマンスを交えながら、絵本を通して伝えたいメッセージについてお話いただきました。

記念講演



大人も引き込まれる、絵本の世界

ユーモラスでおおらかな作品が特徴の長谷川さん。ユーモアたっぷりの語り口で会場内を絵本の世界に引き込み、楽しいお話に心癒されるひと時となりました。

講演では、クマが気に入りの帽子を探す「どこいったん？」や息子さんをモデルにした「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」を朗読。長谷川さん自身、お父様を幼い頃に亡くし、お母様の愛情を大いに感じながら育ったそう、その母親をモデルにした「おかあちゃんがつくった」など、感情を込めた楽しい口調に、会場中が笑いの渦に巻き込まれました。中でも特徴的だったのが、真っ白の模造紙に即興で絵を描きながらのお話。ご自身の紹介を兼ねた、5歳の少年の何気ない日常が、とても楽しい作品に仕上がりました。



人との出逢いが素敵な作品に

「ひとつひとつの出逢いが大きいと思うんです。僕が絵を描いてこられたのは、いろんな人のいろんな影響を受けたから」と語る長谷川さん。絵を描く基本を教えてくれた小学校時代の恩師とは今も交流があり、この大会の講演にあたって激励の手紙をいただいたそうです。

そして最後に紹介された作品「へいわってすてきだね」は、沖縄の少年との出逢いから生まれました。この詩を書いたのは6歳の安里有生君。絵本が語る、「日常が平和であり、みんなの心から平和が生まれる」という思いに長谷川さんも共感され、世の中の平和を願う気持ちをお話されました。最後に、子育てを頑張るお母さんへのエールの歌「幼稚園ブルース」を熱唱し、講演会の幕を閉じました。



当日模造紙に描かれた作品。

【講師プロフィール】 絵本作家 長谷川 義史さん

1961年大阪府藤井寺市生まれ。グラフィックデザイナー、イラストレーターを経て「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」(BL出版)で絵本デビュー。「おたまさんのおかいさん」(解放出版社)で第34回講談社出版文化賞絵本賞を受賞。主な作品に、「うえへまいりまう」「スモウマン」ほか多数。

地域において幅広い活動にいきいきと取り組む子どもたちを「子どもさわやか賞」として表彰。地域の中でさわやかな共感を呼ぶ、府内の21団体および1名が受賞されました。



大阪府民児協連 子どもさわやか賞表彰式

21団体・1名が受賞



大阪府代表として
全国大会に出場

今回の大会では、「子どもさわやか賞」を代表して、岸和田市の若濱瑞希さんに表彰状が授与されました。若濱さんは、高校3年間チャレンジスポーツ部に所属し、陸上競技に力をいれて取り組んでこられました。高校3年生の時に、長崎県で開催された第14回全国障がい者スポーツ大会の大阪府代表選手に選ばれ、女子100mと200mの2種目に出場。100mは3位、200mは4位という好成绩で、両方とも自己ベストタイムを更新するという快挙を成し遂げました。



子どもさわやか賞 代表
岸和田市 若濱 瑞希さん

仲間との練習と
応援がよい結果に



若濱さんの所属していた

チャレンジスポーツ部では、陸上、サッカー、バスケットなど様々なスポーツにチャレンジできる環境にあります。一緒に陸上に取り組む仲間や全国大会の選抜メンバーと共に、毎日、厳しい練習メニューをこなしてきました。「全国大会が決まった時は、みんな喜んでくれました」と話す若濱さん。大会では、学校の先生方が長崎まで応援にかけつけてくれたことが、とても嬉しかったそうです。

現在は高校を卒業し、4月から新社会人として忙しい毎日を送る若濱さん。彼女の高校生活での功績をたたえ、とともに、後輩たちや他の部活動を頑張っている生徒たちの励みとなることを願って、今回の受賞となりました。

子どもさわやか賞について

【目的】

大阪府民生委員児童委員協議会連合会は、困難な状況にあっても家庭や学校などにおいて積極的な生活を送っている子どもや、地域で高齢者や障がい者等との交流活動、公共の場の美化清掃などのボランティア活動を行っている個人・団体について、子どもたちのさわやかな活動の輪が広がり、大阪が子どもの夢あふれる街となるようにとの願いを込めて「子どもさわやか賞」として表彰します。

【実施主体】

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

【表彰対象】

- 困難な状況にあっても、積極的に家族や隣人を助け、いきいきと生活している子ども
- 高齢者、障がい者等との交流活動や介助を行っている子ども
- 公共の場において美化清掃などボランティア活動を行っている子ども
- その他、表彰の趣旨にふさわしい活動を行っている子ども



受賞団体の 主な活動概要

民児協からの推薦団体

高槻市

◎大阪府立大冠高等学校
吹奏楽部

年10回以上にわたり地区のイベントや高齢者福祉施設のイベントで演奏を披露し、演奏には地域の高齢者がコーラスで参加するなど、地域連携の推進に向けて取り組んでいます。

茨木市

◎耳原小学校区 自転車教室

大阪の61チームが参加する交通安全子ども自転車大会で優勝し全国大会に出場するなど、地域の交通安全、自転車の正しい乗り方のリーダーとして活躍しています。

箕面市

◎箕面市立なか幼稚園

敬老会やサロン行事、地域運動会等への積極的な参加により多世代と交流を図る中、子どもたちのかわいい姿や笑顔が地域で活動する方々の大きな励みとなっています。

島本町

◎遙学園・ひびきエイサー部

小学2年生から高校生までの子どもたちが沖縄の伝統芸能の衣装を身にまとい、月2〜3回の練習の中で独自のアレンジも加えながら太鼓の踊りを披露しています。

豊能町

◎豊能町立東能勢中学校
吹奏楽部

部員が少なく活動が困難な状況の中、校内や地域の人に笑顔になつてもらえるような音楽を届けたいという思いから、地域の社会福祉施設や学童保育で演奏を披露しています。

能勢町

◎能勢町あいさつキャラバン隊

各校有志の児童生徒が参加し、高校生のリーダーシップのもと、小中高一貫教育の中で取り組んできた「あいさつ運動」の啓発活動に取り組み、町を元気づけています。

寝屋川市

◎寝屋川市高宮あさひ丘子供会

月2回子どもと母親が交代で公園内や周辺道路等の美化清掃活動に参加し公園を美しく保つなど、子どもが大人の見本となり、地域の美化意識向上に貢献しています。

四條畷市

◎四條畷市楠公地区子供育成会

全員が積極的に地域の季節のイベントに参加することにより、子どもたちのさわやかな笑顔が高齢者や要援護者の方々の参加を促し、地域の一体感を生み出します。

富田林市

◎富田林市立彼方小学校

社会の国際化が進む中、文化的な知識と技能を持つ地域の方々からの日本舞踊、華道、茶道、琴・尺八等の日本文化の継承を通じて、生まれ育った故郷の文化を改めて学んでいます。

河内長野市

◎大阪暁光高等学校茶道部

地域老人会やミサロンの取組みに定期的に参加し、高齢者の皆さんにお抹茶のお点前を披露するとともに会話・交流を深めることが、参加者の大きな喜びにつながっています。

松原市

◎松原市立松原第七中学校生徒会

大人とともに子どもたちを学校に招き地域と交流するほか、地域の子どもたちへのクリスマスプレゼントとしてサンタクロースに扮して公園等の清掃活動を行っています。

柏原市

◎柏原市立国分中学校

地域の活動団体と連携し、校区内で清掃活動やユニセフ募金、地域文化行事の運営協力、手作りの座布団を近鉄国分駅ホームのベンチに設置するなどしています。

東大阪市

◎東大阪市立高井田東小学校 児童会

児童会主導のもと生徒全員で勤労感謝の日に地域の美化活動を行ったり、美化活動終了後に校区の防災訓練に参加して防災や減災について考えるなど、積極的に地域に関わっています。

大阪狭山市

◎桜ヶ丘子ども会

災害時の避難所での生活を想定した防災キャンプでテント張りや調理、救助等の方法を実際の体験から学ぶほか、大震災について真剣に話し合う機会を設けています。

河南町

◎河南町立白木小学校

4年生は障がい者福祉施設を訪れ、日頃の活動に共に取り組んだり歌や詩の朗読をして交流し、2年生は高齢者福祉施設でサツマイモ植えと収穫や季節の行事への参加で交流を深めています。

岸和田市

◎光明小学校ボランティアグループ

メッセージカードを書いて民生委員・児童委員等とともに地域の高齢者に届ける活動から、サロンで贈るプレゼント作りが始まるなど、地域を巻きこみながら高齢者との交流の輪を広げています。

貝塚市

◎貝塚市立永寿小学校 ふれあいルームかわつばクラブ

地域住民に聞いた近木川の龍王伝説を劇等で披露したり、伝統的な紙すきにまつわる地域行事に参加するほか、近畿子どもの水辺交流会等に参加し川掃除や川の生き物観察等の取組みを発表しています。

泉佐野市

◎泉佐野緑の少年団

地域の林業関係者等の指導のもと、緑の募金活動、商業施設へのプラントの寄贈や稲倉池周辺の植樹、里山保全活動への参加等の緑化活動、山地美化活動等に取り組んでいます。

和泉市

◎槇尾中学校区翔け槇尾っ子の会

各団体と連携して地域行事を実施するなど地域の高齢者と子どもたちが交流する場を設けることで子どもたちの郷土を愛する心を育て、地域住民が安心して暮らせるよう地域の発展に貢献しています。

高石市

◎高石市立東羽衣小学校

校内にある「街かどデイサービス」で地域の高齢者との温かい日常的な交流や、近隣の幼稚園とは互いの行事への招待、参加があるほか、地域住民と昔遊び体験をしたり音楽集会へ招待するなど異年齢交流を進めています。

施設からの推薦団体

高槻市

◎健康の里バレールボールクラブ

年2回開催される北摂会のバレールボール大会での優勝を目指して、週2回夕食後に中学校の体育館を借り、小学生から高校生までの女子児童が継続的に練習に取り組んでいます。

岸和田市

◎若濱 瑞希さん

高校3年間チャレンジスポーツ部で様々な競技に取り組み、3年生の時に陸上競技の大阪府代表選手として全国障害者スポーツ大会の競争競技で3位、4位という好成績を残し自己ベストを更新しました。





民生委員・児童委員さん

●泉南市民生委員児童委員協議会●

役立つ情報を発信!

広報紙「民児協せんなん」を制作

「もっと、みんなの役に立つ情報を届きたい」そんな思いを胸に、これまでの既成概念にとらわれず、自由な発想で広報紙づくりにチャレンジすることになった泉南市民児協広報部会の皆さん。その新たな取り組みについて紹介します。



新たな企画で
広報紙を一新

泉南市民児協では、広報紙「民児協せんなん」を年2回発行しています。従来の広報紙は、報告の記事が多く、部会長をはじめ部員のみならずにも内容を変えたいとの思いがありました。そこで、昨年の第1回広報部会において、今後の部会方針を検討。もっと取材などを取り入れ、民生委員・児童委員の活躍を支えられる紙面づくりに取り組もうということで、意見がまとまりました。

早速、前号では、市長と民児協三役の対談を企画。取材やテープ起こしなどの原稿作成に戸惑いながらも、泉南市の児童福祉についての記事をまとめ、市長の生の声を届けることができました。前号の評判について「市長対談よかったよ」と、皆さんすごく喜んでくれました」と部会長荒子英範さんは話します。



「まだまだ手探り状態。もっと色々挑戦したい」と泉南市民児協広報部会の荒子英範部会長



地区委員長に
各地区の防災への
取り組みを取材

今号の発行にあたっては、まず、第1回目の編集会議でテーマを決定。巻頭の目玉記事として、研修で被災地の南三陸町視察に参加した民生委員・児童委員さんの体験談を掲載し、泉南市の防災について特集を組むことにしました。

泉南市の民児協は全部で6地区あります。それぞれに自主防災組織があるので、各地区の防災の取り組みを取材し、広報紙に掲載することで、互いの地区の防災対策や知識を共有するのが目的です。

「民生委員・児童委員が防災に対して地域でどのように取り組んでいくべきか」というテーマのもと、市役所から危機管理課の課長も招き、泉南市の防災について発表してもらうとともに、各地区の委員長に地区の防災について発表してもらいました。





広報紙「民児協せんなん」を作成されている、泉南市民児協広報部会のみなさん



泉南市民児協の松野 博会長

「部員一人ひとりが情報収集や取材をするのも目的なんです。全員が少しずつ担当し、みんなで関わって広報紙を作り上げたい」と部会長の荒子さん。また、広報部会のメンバーはとも勉強熱心。大阪府民児協連主催の広報紙研修会にも積極的に参加し、そこで学んだことを紙面づくりにいかしています。



アドバイザーの橋野 節子地区委員長

「委員からの評判もよく、民児協としても応援していきたい」と松野博会長。泉南市民児協の今後の取り組みが期待されます。

編集会議は、いつもなごやかな雰囲気なので、互いに発言しやすい環境にあるそう。「皆さんが発言することによって、編集会議が活発になるんです。いろんな意見からアイデアやヒントがいただけます。皆さん、いい考えをお持ちなんでね」とアドバイザーの橋野節子地区委員長。

原稿は全員で校正しますが、ひとつの原稿を読み合わせるのに1時間くらいかかることも。「意見が出すぎて、先に進まない」と苦笑しつつ、みんなで楽しみながら制作活動に取り組んでいます。



編集会議で丁寧に校正のチェックをしている途中原稿



まとめた原稿をみんなで校正し、文章の内容が正しく伝わるように検討します



全員で作り上げる
ことを目標に



活発な発言から
様々なアイデアも



広報紙の手渡し

民児協だより

「北摂ブロック」豊能町

小さな町だからできること！

豊能町は箕面市・茨木市の北西部に位置する人口2万1000名の小さな町で、51名の委員が活動しています。

◎委員の手配りで広報紙を全戸配布

昭和62年（1987年）に創刊した広報紙「とよの民生委員だより」は、毎年2回の発行を重ね、次回は56号となります。住民への配布は委員全員が担当地域を1軒ずつ手配りしています。見守りが必要な方には、手渡しすることによって様子をうかがい、話し合う機会としても役立っています。

◎新任委員研修は町内施設見学ツアー

委員の一斉改選後、新任委員を対象に町内の各施設を訪問する施設見学会を実施しています。

昨年5月にも一日かけて、保健福祉センター↓特別養護老人ホーム↓障害者入所施設↓障害者通所施設↓認定こども園などを見学しました。

豊能町住民だけが入所できる地域密着型特別養護老人ホームの居室や、「自立支援」を目指した介護現場の説明を受け、参加者からは「町内にこんな施設があることさえ知らなかった」などの声が出ていました。

豊能町民児協



特別養護老人ホームの各種施設見学



特別養護老人ホームの居室見学

「河北ブロック」門真市

安心・安全な地域づくりへ「救急医療情報キット」



門真市内の私たちの地域は住宅中心の地域で、主な活動として、幼児・児童・高齢者・障がい者の抱える生活上の諸問題に対応しています。

今回は3年に1度行っている「救急医療情報キット」の活動を紹介します。対象は、

① 65歳以上のひとり暮らしの方 ② 75歳以上の方が含まれる高齢者のみの世帯 ③ 障がい者 ④ その他健康に不安のある方。複写の情報シートを記入していただき、1枚をプラスチックの円筒の中に入れて、各家庭内の冷蔵庫に保管し、もう1枚の控えを民生委員、児童委員が管理しています。

シートの内容は、(1)生年月日、(2)住所、(3)氏名、(4)血液型、(5)家族構成、(6)かかりつけ医療機関、(7)持病、服薬の内容等です。

ませんが、高齢化が進む中、安心・安全に対するニーズが高いのかなと思いました。また、緊急時にこのキットが活用された事例もあり、今後も関係機関と連携して安心・安全な地域づくりに貢献してまいりたいと思っています。

門真市民児協



冷蔵庫に保管の目印をつけます

救急医療情報シート



救急キット

民児協だより

「河南ブロック」大阪狭山市

市民向け公開講座

「地域で支えるために認知症について学ぼう」を開催！

平成27年3月17日大阪狭山市立コミュニティセンターにて、民児協主催の市民向け公開講座を開催し、当日は130名の参加がありました。

大阪狭山市地域包括支援センターの橋野建史氏より、認知症の概要と大阪狭山市

の現状について説明がありました。大阪狭山市でも約1万4千500名中2千300名が認知症になる可能性があり、その予備軍が2千200名と言われています。受講者にとって、認知症が身近に感じられる話でした。

続いて大阪狭山市キャラクターメイトが、認知症の方と地域住民に扮し、買い物時の様子（認知症に関する寸劇）を演じてくれました。認知症の方に対する具体的な声かけの仕方や、対応について学ぶことができました。

さらに、上島医院の渥美正彦先生から、治療に携わっている経験を踏まえた話をうかがいました。認知症は誰でもなる可能性があり、周りの人が注意すれば

早期発見につながり、受診・治療が可能となります。そのため、地域での見守り、発見の大切さに気づかされるご講演でした。

「認知症の方やそのご家族を、地域でどのように支えていくか」について、それぞれが身近な問題として考えるよいきっかけとなりました。

大阪狭山市民児協



公開講座の様子

「泉州ブロック」和泉市

子どもから高齢者までの 地域の見守り



和泉市民児協では、高齢者の支援や子育て支援を中心とした支援活動を行っています。

高齢者支援では、孤立・孤独をなくすため、地域の各団体・関係機関と連携し、日々の見守り活動や、各種交流会への参加を促すなどの活動を行っています。

家庭を訪問し、声をかけることで、安否などを確認し、また住民のみなさんとコミュニケーションを十分に取ることで、住み慣れた場所ですら「元気で長生き」してもらえないような街づくりをめざしています。

子育て支援では、新生児の「こんにちは赤ちゃん訪問」に始まり、地域でのお母さんと子どもたちとの「子育て交流会」、自治会や各種団体と連携した「見守り活動」など、地域の安全・安心のための活動を行っています。

そして、子どもたちから高齢者までが一堂に集まり、楽しく遊ぶ「地域でのサロン」も、多く開催されています。

少子高齢化が進む中、少しでも各世代が一緒に過ごすことで、子どもたちにも、おじいちゃん・おばあちゃんに



子育てサロンの様子



いきいきサロンの様子

も、普段見られないような笑顔があふれます。

その活動を通じて、私たちは元気をもらっています。

和泉市民児協

大阪府民児協連主任児童委員連絡会では、さらなる資質向上や市町村域を超えたネットワーク作りをめざし、ブロック事業を実施しています。

河北ブロック主任児童委員連絡会に民児協会長が参加

河北ブロックでは、毎年河北ブロック主任児童委員連絡会を開催するほか、代表者会議や研修会を複数回実施しています。3年に一度の二斉改選時には、7市の民児協会長にも連絡会に出席いただき、主任児童委員活動への意見をいただくなど、情報交換や交流を行ってきました。

平成26年度からは、府民児協連より市町村民児協会長に対するブロック事業への参加の呼びかけもあり、毎年会長に参加いただけることになりました。

同年11月に開催した情報交換会には各市の会長や幹事市の副会長も加わり、各市の主任児童委員活動の現状や課題を共有しました。



『互いの活動を補完し合える』 関係をめざして

守口市民児協の小川勝会長は「各市で主任児童委員がさまざまな活動をしている様子がよくわかりました」と情報交換会に参加した感想を述べます。



守口市民児協
小川 勝会長



連絡会に出席することで、活動や事業への相談、意見交換がしやすくなったといえます。さらに「役割分担は必要ですが、主任児童委員だから、民生委員・児童委員だから、と互いに距離を置くのではなく、主任児童委員と民生委員・児童委員が日頃から密に情報共有するなど、互いの活動を補完し合い、両者が一体となって活動することが重要だと思っています」と両者が連携することのメリットを話します。

「主任児童委員と児童委員と一緒に活動することが、児童福祉の推進に不可欠であると感じます。主任児童委員は民生委員・児童委員の一員である



河北ブロック
主任児童委員連絡会役員
萩原 朋子さん



とご理解いただいていることが、活動するうえでとてもありがたいです」と河北ブロック主任児童委員連絡会役員の萩原朋子さん。「今後も互いの活動への理解を深めるため、会長の皆さまとも連携しながらブロック事業を進めていきたいです」と今後の抱負を語ります。

河北ブロックでは、今後もブロック事業の活性化やネットワークの拡大をめざし、取組みを進めます。



取材当日は、守口市民児協の小川会長、村口初美副会長、大井由喜子児童福祉部会長、寺島登志子広報・調査部会長も参加し、主任児童委員活動について情報共有しました。

33号 読者プレゼント

より多くの方に社会福祉施設のことを知っていただき、地域との交流がさらに深まることへの願いを込めて、本誌でご紹介した社会福祉施設において制作、販売している商品等を読者の皆様に抽選でプレゼントします。



1 パイセット 2名様

パイ(はーとぱい、リッチパイ、プチパイ、チョコプチパイ)
ティッシュケース付きポーチ&
スイーツマグネット×2のセット



2 クッキーセット 1名様

クッキー(チョコアーモンドクッキー、ナッツクッキー、
カントリークッキー、ラングドシャ、きなこクッキー)
お手玉付きカゴ&ミニふくろうのセット



3 ケーキセット 1名様

ケーキ(レモンケーキ×2、チョコブラウニー、
トスカケーキ、黒ごまとくるみのブラウニー)
まぐちポーチ&リボンのセット

応募方法

右記の必要事項をもれなくご記載いただき、締切日までにFAXまたは本会ホームページの応募フォームにてご応募ください。

応募締切 平成27年8月20日(木)
午後5時必着

必要事項

①氏名(ふりがな)、②住所、③電話番号、④所属(民生委員・児童委員、関係機関職員、その他具体的に)、⑤希望する商品名、⑥当該号または本誌への意見や感想・要望等

宛先 大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX] 06-6762-9487

[H P] <http://www.osakafusyakyoku.or.jp/minkyo/>



《32号の当選者》おめでとうございます! 守口市O・Mさん、門真市K・Tさん、門真市K・Kさん、高槻市E・Kさん

事務局だより

大阪府民児協連事務局 新体制のお知らせ

平成27年度を迎え、事務局の
担当者が変わりました。

■ 事務局長 森垣 学

■ 事務局次長 片岡 哲司

■ 職員 難波 志保

土生 祥代(新)

中畑 幸子

※昨年度から担当しておりました
南 愛美は5月17日付で
退職しました。

頑張りますので、今後とも
よろしく願いたします。



表紙の商品と作業所の紹介

●社会福祉法人 心愛●

心学塾作業所の みなさん



枚方市

枚方市にある「心学塾作業所」では、利用者さん一人ひとりの力に応じた仕事を通じ、障がい者の社会参加を支援しています。アルミ缶のリサイクルなど、様々な仕事に取り組んでいますが、特に力を入れているのがクッキーやパウンドケーキなどの焼き菓子です。

中でも一番のこだわりはパイ生地のカッキー。お菓子作りを始める時、最初に挑戦したのが「は～とばい」でした。手間のかかるパイ作りは失敗の連続で、やっとパイらしい生地が作れるようになったのは2年目くらいから。そこから試行錯誤を重ね、少しずつ商品を増やし、今では30種類ほどの焼き菓子を作れるようになりました。そして、平成22年の大阪府授産商品コンペティションで「チョコアーモンドクッキー」が最優秀賞を受賞。これには、スタッフや利用者のみなさんも大きな励みになったそうです。



昨年の春、製菓専用の工房「パイの部屋セ ボン」が完成しました。広くなった工房では、7～8人の利用者さんと4人のスタッフが入れ替わりで作業をしています。取材当日も、パイ生地作り、成形、計量と利用者のみなさんが手分けし



季節に応じたお菓子をひとつひとつ丹念に焼き上げます。

て作業を進めていました。オープンの前では、香ばしいバターの香りとともに、は～とばいが続々と焼きあがってきます。「人気商品は、プチパイなどのパイ類ですね。バターも小麦粉も材料からこだわっていますので、皆さんに美味しいと好評です」とスタッフの井上さん。

昨年の秋からは、「米粉クロワッサン」も手がけるようになりました。表面のサクサク感と米粉独特のもっちり感が好評で、販売すれば即完売となる人気ぶりです。「米粉にこだわったのは、将来的に小麦粉が値上がりすることを見越したうえで。小麦粉やバターが値上がりする中、お米は安定供給ですからね」と理事長の池永さんは話されます。まだ、パン作りは始まったばかり。今後、バリエーションを増やしていきたいと、みなさん意気込んでおられました。



顔パッチやお手玉などの布製品も作成しています。



焼き立ての「米粉クロワッサン」。おいしいと大評判。

★注文・お問い合わせ先★

〒573-0146

枚方市大峰元町1丁目21番5号

TEL.072-859-9194

FAX.072-859-9195

ホームページ <http://www.shinai.info/>
(インターネット販売中)



編集後記

泉南市民児協広報部会の取材で「挑戦」の大切さを実感しました。私も既成概念にとらわれず取り組んでまいりたいと思います。皆様のご意見・読者プレゼントの応募もお待ちしております。日増しに暑くなります。どうぞご自愛ください。

Well ウエル おおさか

vol.33
(通巻67号)



発行日: 平成27年7月

発行: 大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局: 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyuo.or.jp/minkyo/>



QRコードから
簡単アクセス